



令和4年1月25日

報道関係者 各位

書籍『食べる大切 ST（言語聴覚士）の現場から』の贈呈について

本市出身・在住の 大場 章夫（おおば ふみお）氏の書籍『食べる大切 ST（言語聴覚士）の現場から』を本市にご恵贈いただきました。

広く市民の皆様に読んでいただけるように公民館等に配架し、活用を図りますので、お知らせします。

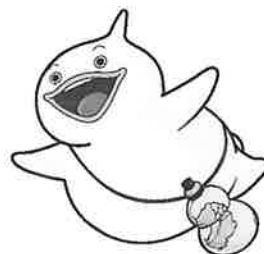
記

1. 贈呈者 おおば ふみお
大場 章夫 氏
2. 内 容 書籍の贈呈
『食べる大切 ST（言語聴覚士）の現場から』10部
3. 備 考 贈呈いただいた書籍は、公民館や大場章夫氏の出身校である三会小学校・三会中学校等に配布し、活用する予定です。なお、市内図書館については、今回の贈呈とは別に、当該書籍が出版社から寄贈されております。
4. 添付資料 ・大場氏プロフィール、書籍の概要
 ・贈呈文（写）

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会社会教育課
社会教育文化班 担当：林田
電話：0957-68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

大場 章夫（おおば ふうみお） 氏 プロフィール

生年月日 昭和59年4月18日生まれ

住 所 島原市津吹町

備 考 言語聴覚士

書籍の概要

書 籍 名 『食べる大切 ST（言語聴覚士）の現場から』

著 者 大場 章夫

出 版 ゆるり書房

出 版 年 2021年8月

内 容 言語聴覚士（ST）である著者が、飲み込みのリハビリを担当して思ったことや考えたこと、経験からの提案を中心に書いた本であり、肩肘張らずに、病院や高齢者、介護の現場で口から食べることの大切さやその意味をもう一度考え直し見つめなおすきっかけ作りの本。





島原市長様 机下

拝啓

時下ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さてこの度『食べる大切』飲み込みのリハビリり歩前へ言語聴覚士の現場からと題しまして本を出版致しました。

内容としましては、私が従事しております、飲み込みのリハビリりに携わって思った事や考えた事を中心にまとめました。私たち言語聴覚士は言葉のリハビリりの専門職ですが声を出す口や喉が食事の飲み込みと重複していることもあり飲み込みのリハビリりも担当するようになりました。医療や介護の分野においてリハビリりは一般には理解しがたく馴染みが少ないかと思います。ましてや飲み込みのリハビリりと言っても一般の方にはなかなか理解してもらいにくい分野であると思っております。一方で病気をした後、高齢となって飲み込む力が低下した後どう栄養を確保するかは誰にでも直面しうる大切な課題であり目を背ける分野ではないと思います。それらの問題に対して一般の方にも考えるきっかけにして欲しいという思いで書かせて頂きました。

古川市長におかれましてはすでにご一読頂いているとの事で大変うれしく思っております。後書きでも述べておりますが学生の時から現在に至るまで私の拙い文章を称賛して下さいた方がいたから自分は文章を書く喜びを忘れずに今日に至っております。

拙著ではございますが、広く市民の皆様にお読み頂きたく献本致します。市民の皆様の医療・介護・リハビリり、口から食べる事に関して知識や興味を深める一助となれば幸いです。また一般の方へ書籍への興味のきっかけになればと思っております。加えて市内在住の私が本を出した事で出版を考えている他の市民へ出版の啓発になればうれしく思います。それがひいては島原市全体の文化レベルの向上につながる事を願います。公民館など市民の方が手軽に手に取って頂きやすい場所に配本して頂ければ幸いです。小本ではございますがほんのわずかでも島原市に貢献出来ればこんなにうれしい事はありません。

最後になりますが島原市の益々の発展と皆様のご健勝お祈り申し上げます。また出過ぎた事です市長の勢力的な活動耳にしております、どうぞご自愛もお祈り申し上げます。

令和4年1月8日

敬具

大場章夫